2025 年７月 31 日

各　位

会 社 名　　　　　株式会社コンヴァノ
代表者名　　代表取締役社長　上四元 絢
（コード：6574 東証グロース）
問合せ先　執行役員　藤本 光
（TEL：03（3770）1190（代表））

子会社による新たな事業（ＡＩデータセンター事業）の開始に関するお知らせ

当社の連結子会社である株式会社Convano consulting(以下「Convano consulting」)は、新たにＡＩデータセンター事業を開始することを、2025年７月31日開催の経営会議で決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

１．新規事業開始の趣旨

当社グループは、生成ＡＩ・ＩoＴ・５Ｇ／６Ｇ通信の急速な普及により国内トラフィックが指数関数的に増大しつつある現状を踏まえ、①ＡＩ特化型データセンターの運営、②他社が新設するＡＩデータセンターに対するエンドツーエンドの運営コンサルティングという二本柱のビジネスモデルを構築します。近年の生成ＡＩやＩoＴの急速な普及に伴い、国内バックボーンに流入するデータトラフィックは指数関数的な伸びを示しております。当社グループはこの方針に呼応し、ＡＩ特化型データセンターを推進します。

２．新たな事業の概要

（１）新たな事業の内容

ＡＩデータセンター事業

国内外の事業者がこぞってＡＩデータセンター投資を加速させる一方で、各プロジェクトが抱える課題は共通しております。第一に、高性能ＧＰＵクラスターを安定稼働させるためには、１ラック当たり数十キロワット規模の高密度配電と精緻な熱設計が不可欠でございます。第二に、再生可能エネルギー比率の引き上げと電力単価の高騰抑制を両立するため、ＰＰＡを主体とした長期固定価格契約や蓄電システムの併設が求められます。第三に、液浸冷却や外気冷却といった次世代冷却ソリューションを導入する際には建屋の階高、床荷重、排熱ルートなど物理的制約への適合が必須であり、既存建物の流用案件では特に難度が高くなります。第四に、システム運用フェーズでは、予兆保全と電力需要平準化を同時に実現するＡＩオーケストレーションが不可欠でございますが、その導入ハードルは依然高い状況です。これらの技術的・経済的課題を総合的に解決できるプレーヤーは極めて限られております。

そこで当社は、自社データセンターを運営するのみならず、他社が新設または既設のＡＩデータセンターを対象に「ＡＩデータセンター代行運用」と「電力効率・計算性能最適化コンサルティング」を包括的に提供することで市場に新たな価値を創出いたします。

当社の代行運用サービスは、設計・調達・建設の段階から運用・保守・改善まで一貫して伴走す

る点が特徴でございます。立地選定段階では自治体補助金や系統容量を考慮しながらキャパシティプランニングを実施し、環境アセスメントとＰＰＡ交渉を同時並行で推進いたします。設計フェーズでは三次元ＢＩＭモデルとＣＦＤ解析を活用し、冷却系統・電源系統・通信ケーブリングを最適化いたします。建設段階ではマルチベンダー入札プラットフォームを運用し、サプライチェーンリスクを分散させつつコスト効率を高めます。

以上の背景を踏まえ、当社がＡＩデータセンター代行運用・専門コンサルティングを強化する目的は、国内外で急増するＡＩ計算需要を単に収容するだけでなく、「最適な電力効率」と「最短の計算スピード」という二律背反しがちな目標を同時に達成する専門サービスを提供し、データセンター運用の新たなベンチマークを形成する点にございます。自社データセンターでリアルタイムに検証した運用データを顧客プロジェクトに速やかにフィードバックし、顧客施設で得られた改善知見を再び自社データセンターに取り込み、技術サイクルを高速に回転させる「循環型イノベーションモデル」を確立することで、当社と顧客双方の競争力を継続的に向上させてまいります。

当社グループは「FASTNAIL」を核とするネイルサービスチェーンの運営を主軸に、フランチャイズ管理・商品企画開発・メディア運営等、多面的に事業を展開しております。近年は「新規ビジネスシステムの開発」を掲げ、ビューティー領域で培った顧客基盤・店舗運営ノウハウを、DX（デジタルトランスフォーメーション）を通じて高度化する取り組みを強化して参りました。

ＡＩデータセンター事業は、この 社内ＤＸ推進の延長線上 で誕生したものであり、（１）生成ＡＩ解析によるパーソナライズド・マーケティング、（２）店舗運営データのリアルタイム最適化、（３）新商品・新サービス開発時における高速シミュレーション等、当社既存事業の高付加価値化を直接後押しいたします。単なる「別事業」ではなく、ネイルサロン事業を含むグループ全体のデジタル・インフラ基盤の延長としての戦略的投資と位置づけております。本件はConvano consultingが主管する“第二の成長エンジン”を新たに形成いたします。同社が保有する クラウド・システム設計、プロジェクトマネジメント、店舗ＤＸ導入支援 の知見と、ＡＩデータセンター事業との間には、相乗効果が期待されます。本件データセンターは、こうした「新たな価値創造」というグループ共通のミッションに合致するものであり、単独で孤立した事業ではなく、ＩＴコンサルティング部門を核とするサービスラインの“中核インフラ”として位置づけられるものです。

（２）当該事業を担当する部門

当該事業は、当社の連結子会社であるConvano consultingが担当いたします。

・Convano consultingの概要

（１）名称	株式会社Convano consulting
（２）所在地	東京都渋谷区桜丘町２２番１４号Ｎ．Ｅ．ＳビルＳ棟Ｂ３Ｆ
（３）代表者の役職・氏名	代表取締役　東 大陽
（４）事業の内容	経営コンサルティング、ITコンサルティング
（５）資本金	100万円
（６）設立年月日	2024年４月１日(設立時の取締役会決議日：2024年２月22日)

（７）出資者及び出資比率	株式会社コンヴァノ 100.0%	
（８）上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	当社が100.0%出資する子会社になります。
	人的関係	当社の取締役3名が当該会社の取締役を兼務しており、当社監査役1名が当該会社の監査役を兼務しております。
	取引関係	当社の本社機能に関する業務委託取引がございます。

（３）当該事業の開始のために特別に支出する金額及び内容

当社連結子会社である株式会社Convano consulting（以下、当社子会社）では、生成ＡＩ・ＩoＴトラフィックの急拡大と、国内外で進むＡＩ演算特化型インフラ投資の潮流を踏まえ、新規事業として「ＡＩデータセンター事業」を立ち上げる運びとなりました。本事業は、①自社保有設備によるプライベート・クラウド／オンプレミス形態のＩａａＳ提供、②他社データセンターに対するエンドツーエンド運用コンサルティングという二本柱で構成されており、特に医療・美容・創薬分野を中心とする既存クライアントの高度演算需要をワンストップで吸収する体制を整えてまいります。

上記ビジネスを円滑に始動させるため、2025年８月のサービスローンチを目途に、開発費および人材採用費として総額3,000万円を充当する計画でございます。資金の具体的な使途は以下のとおりです。第一に、事業立上げ期に不可欠な専任要員５名の採用関連費用――採用広告、エージェント手数料、リファラル報奨金等――として約1,200万円を見込みます。第二に、採用後12か月間の人件費原資として約1,500万円を計上し、うち２名をセールスエンジニア、１名をインフラ運用リーダー、１名を顧客窓口を兼ねるカスタマーサクセスマネジャー、１名をバックエンド開発兼ＡＩオーケストレーション担当とする構成を予定しております。第三に、着任直後から実務投入できるよう、ＧＰＵクラスタ仮想環境、ＡＩ予兆保全プラットフォーム、ＩＳＭＳ／ＳＯＣ２基準に準拠した情報セキュリティ教育キットなど、研修・環境整備費として約300万円を割り当てる計画です。

なお、これら3,000万円は全額、当社子会社が美容ＤＸコンサルティングやシステム開発受託で蓄積した営業キャッシュフローから捻出いたします。外部調達に依存しない自己資金投下とすることで、持株会社コンヴァノのバランスシート健全性や株主還元方針に影響を与えることなく、機動的・柔軟に予算を執行する方針です。

サービス提供開始後は、最先端ＧＰＵ／ＡＳＩＣの高密度実装が前提となるラック設計、再生可能エネルギー比率を高めるＰＰＡ契約、液浸冷却や外気冷却の導入、ＡＩオーケストレーションによる電力需要平準化など、事業計画書に盛り込んだ専門領域へのコンサルティング需要拡大を見込み、採用した５名を核に約６か月間で案件獲得～運用ハンドオーバーの標準オペレーションを確立いたします。

また、セキュリティ面ではＩＳＯ／ＩＥＣ27001 に準拠したマネジメントシステムの早期取得を目指し、ゼロトラスト網内分離、秘密分散鍵管理、第三者機関による脆弱性診断とペネトレーションテストを定期実施する計画です。これにより、医療・創薬系クライアントが求める厳格な個人情報・機微データのガバナンス要件に応え、顧客から預かる推論モデル・学習データの完全性、機密性、可用性を担保いたします。

Convano consultingは本事業を通じ、既存のＩＴコンサルティングサービスと双方向のシナジーを創出し、自社データセンターで実証した高効率運用ノウハウをクライアント案件へ展開、得られた知見を再び自社に還流させる「循環型イノベーションモデル」を確立することで、グループ全体の技術資産と収益ポートフォリオの質的向上を図ってまいります。以上のとおり、本件3,000万円の投資は、人的リソースと技術基盤を同時に確保するための初期投資額として十分な規模であり、持続的成長への布石として適切であると判断しております。

３．日程

（１） 取締役会決議	2025年７月31日
（２） 事業開始日	2025年８月１日(予定)

４．今後の見通し

上記の通り、Convano consultingは、ＡＩ演算特化型データセンターの開発・運営事業へ参入する計画を進めております。①最新世代ＧＰＵ／ＡＳＩＣによる高負荷演算環境をサービスとして提供（Infrastructure as a Service：IaaS）、②医療・美容・創薬分野で急増する大規模モデル学習需要を取り込むという高付加価値モデルを想定しており、Convano consultingの売上収益並びに当社連結業績に与える寄与に大きな可能性がございます。

しかしながら、当該事業は①装置投資額・電力需要を含む初期キャパシティの精緻な設計、②主要顧客の長期利用コミットメント（オフテイク契約）締結状況、③電力契約および冷却インフラに関する自治体許認可手続の進捗、④資金調達手段（リース・ＰＰＡ・金融機関融資等）の確定など、多面的な検討項目を前提としております。

このため、2025年７月31日に公表いたしました「業績予想の上方修正に関するお知らせ」には、本件データセンター事業から見込まれる収益・費用・減価償却費等の影響をまだ一切織り込んでおりません。当社としては、①初期稼働時期、②年間平均稼働率、③平均販売単価、④ＥＢＩＴＤＡマージン、⑤資本的支出および資金調達コスト――を精査のうえ、適切なタイミングで業績予想への反映可否を判断する方針でございます。

結論として、ＡＩデータセンター事業は高単価・高マージンが期待される一方、事業規模・資本投下額ともに大きいため、現段階では業績に与える定量的影響を確定し得ず、７月31日開示時点の業績予想修正には含めておりません。今後、主要マイルストーン（①主要顧客との正式契約、②主要設備の発注確定、③電力・冷却インフラの許認可取得、④資金調達スキームの確定）が達成され、収益見通しの合理的な算定が可能となった時点で、業績に与える影響について公表すべき事項が生じた場合は、速やかにお知らせいたします。

以　上